

第一支部

第一支部情報

今後の予定

ア. 浦和区健康まつり

- (ア) 日 時：平成 27 年 11 月 1 日（日） 10：00～15：00
- (イ) 会 場：浦和コミュニティセンター
- (ウ) 内 容：医療放射線展
骨密度測定

第一支部報告

ア. 第 1 回勉強会

- (ア) 日 時：平成 27 年 6 月 24 日（水） 19：00～
- (イ) 場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター 3 階会議室
- (ウ) 参加費：500 円
- (エ) 参加人数：51 人
- (オ) 内 容：
 - a. メーカー最新技術講演
 - (a) 『富士フィルム FPD 最新動向について』
富士フィルムメディカル株式会社 浅野 省二
 - (b) 『ワイヤレス型 FPD を用いた最新製品のご紹介』
コニカミノルタヘルスケア株式会社 北関東支社 販売推進部
デジタルシステム担当 沼崎 明
 - (c) 『超低線量 X 線診断装置 sterEOS イメージングシステムの臨床的有用性』
株式会社 メディテックファースト
EOS Imaging 社 営業技術部 アントアン ムニエ
 - b. 教育講演
 - (a) 『診療放射線技師法改正・業務拡大に伴う統一講習会実施について』
日本診療放射線技師会 理事 富田 博信

イ. 第 1 回地区役員会

- (ア) 日 時：平成 27 年 7 月 29 日（水） 19：00～
- (イ) 場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
- (ウ) 出席人数：13 人
- (エ) 内 容：次回勉強会、役員の変更、健康まつりについて



富士フイルムメディカル株式会社
浅野 省二 氏



コニカミノルタヘルスケア株式会社
沼崎 明 氏



EOS Imaging 社
アントアン ムニエ 氏



日本診療放射線技師会 理事
富田 博信 氏

第二支部

第二支部 掲示板

所沢ハートセンター 柴 俊幸

原稿執筆時点で真夏は本番を迎え連続猛暑日の新記録と各メディアが報じております。先日、とある学会が福岡で開催され、九州へ初上陸致しました。学会の合間に散策して思ったことは「福岡にはチェーン店が少ない」ということでした。うだるような暑さの中、一休みしようと思っても全国展開のファミレスや居酒屋があまりなく、ほとんどは個人経営（系列店もあるのかもしれませんが）のお店で、福岡の食文化へのこだわりを感じました（もちろん美味しいものばかりでした！）。

さて、私事です。最近の移動では本を読むようになりました。スマートフォンのバッテリーがヘタって来ていることも原因の一つではありますが、ほんの数百年で時間を潰すツールとしてはとても有用に感じます。読むものはもっぱら小説が多く、ほとんど書籍への知識がない私は店先でなんとなく表紙と題名、そして裏書のあらすじ(?)を見て購入します。やはり読んでみると個人的に合う、合わないという好みがあるようで移動時に読み残したものを家に帰ってから読むもの、そのまま途中で終わってしまうものに分かれます。興味がある分野だと思って読み始めたものでも最後まで読まなかったりすることも多々あります。

これまでも何度か自分の中で「読書ブーム」はあったものの、特定の作家しか読んでこなかったため、こういった自分の好みを発見できることはとても新鮮です。

もともと優柔不断な私は、いくつかの選択肢があるととても迷う性分で、シャツの色柄だったり、飲食店でどの定食にするか、などなど決めるまでにとても時間がかかります。しかし、この何回目かの読書ブームを通じて「とりあえず手を出してみる」ことの大切さに気付きました。取っ掛かりは必要ではありませんがちょっと気になったら触ってみる、合わなければそれで良いし、もっと興味が湧けば儲けもので突き詰めれば良い。そう思うようになりました。

今現在私は循環器内科の施設で、ほぼCTのみの業務を行っています。ちょっと興味がある分野でも「忙しいし…」「あまり自分には関係ないかな」などと理由をつけて遠ざけていましたが、今後は少し興味が湧いたものであれば手を伸ばしてみようと思います。なにより今まで話す機会の少なかった分野の技師さんとの話題を設けることもできると思います。

某セミナーで心臓CTは、CT全体の件数の数%であるというお話がありました。そんなマニアックな世界にご興味のある方、ぜひ機会があれば語らしましょう。私もまだ見ぬ誰かとの楽しい時間のためにいろいろなものに手を出し、話題を懐に忍ばせておきたいと思います。

平成 27 年度 第 1 回勉強会 『より良い検査を求めて ～小児検査～』 座長集約

きたもと脳神経外科クリニック
横山 寛

平成 27 年 4 月 23 日（木）国立障害者リハビリテーションセンターで『より良い検査を求めて ～小児検査～』の勉強会が行われた。

昨今では各種学会などでも小児に関する発表が増えてきており、その特殊性から注目度も高まっているように感じる。小児というと被ばくに関することと、成人とは異なる身体の解剖・生理が一番の特徴といえるだろう。今回の勉強会では 4 人の演者により、それぞれ一般撮影の撮影条件・読影、CT の撮影条件・読影といった被ばくと小児特有の画像の読み方を学ぶことができた。

一般撮影の撮影条件では小児の体型をデータ化し、そこから最適な撮影条件を導き出していた。小児の体型は年齢により大きく異なり、その細かい撮影条件を実際のデータから算出した撮影条件は非常に貴重であると思われる。全ての施設で同じようなことを行うのは難しいと思われるが、各施設で撮影条件を再考する良いきっかけになったのではないだろうか。

一般撮影の読影では、実際の臨床画像を問題形式で症例をプレゼンしていた。読影に使われる用語の解説や、読影の手順・方法など実際の現場に則した説明が理解しやすかったと感じた。

CT の撮影条件では、撮影条件の構築をするに当たって、各種装置メーカーの CT 装置の特性を考えた条件作りが必要とのことであった。CT 装置の被ばく線量の指標となる CTDIvol や CTDIw の算出には、基準となるファントム（16cm・32cm）が存在する。しかし、このファントムサイズが各メーカーにより異なっている。自分の施設の CT 装置がどちらのファントムを基準としているのかを理解した上で、撮影条件の構築に役立ててほしい。

CT の読影では小児特有の症例をピックアップし、その画像の見方や特徴を臨床の知識や生理学的な説明を含めてレクチャーしていた。実際に放射線科医や小児科医がどこに注目して画像を診ているのか、CT 検査からどのように診療に繋げるのかが理解できた。特に頭部（脳）では成人と大きな違いがあり、NBC（Neuro Best Contrast）フィルターの使用などに注意が必要である。

実際の臨床において小児に対する機会は一部施設を除いて圧倒的に少ないのが現状である。その数少ない臨床の機会に最適な画像を最適な条件で提供することはわれわれ診療放射線技師の役目である。

1. 臨床で求められている知識や情報を理解する
2. その情報を得られる画像を最適な撮影条件で提供する
3. 最適な撮影条件を得るために、各装置の特性を理解する

以上、基本的なことは成人と何ら変わらないことを理解していただけたらと思う。『小児』という先入観に必要以上にとらわれることなく、今回の勉強会で学んだことを現場での業務に役立てていただければ幸いである。

最後に、日々の業務が忙しい中、今回発表してくださった 4 人の演者に感謝しつつ、座長集約とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 27 年度 第 2 回勉強会 「製品紹介並びに逐次近似再構成について」座長集約

益子病院
蒲田 淳一

今回、製品紹介セッションでは東芝メディカルシステムズの大西さまより新製品の紹介、また一般研究発表のセッション内で東芝メディカルシステムズ佐川さまより「逐次近似再構成について」の発表をいただきました。

製品紹介では新型 CT の Aquilion ONE ViSION FIRST (Forward projected model-based Iterative Reconstruction Solution) や Aquilion Lightning および、最新 Ver.7 (V7) モデルの Aquilion PRIME の 3 機種を紹介と、V7 とそれに付随する金属除去再構成 SEMAR (Single Energy Metal Artifact Reduction) に関する紹介であった。

Aquilion Lightning は以前より販売されていた 16 列 MDCT AquilionRX の後継機であり、同クラスの Alexion よりも上位機種に当たる。ガントリのコンパクトさが特徴で、現在の上記機種にも搭載されている新型検出器と後述する V7 や SEMAR も搭載されており、コストパフォーマンスが非常に優れている製品と言える。

V7 は AIDR 3D を発展させた AIDR 3D Enhanced や、ヘリカルスキャンで SEMAR が可能となった事が大きな特徴だ。

当院でも SEMAR は可能であり、整形領域や義歯の Artifact に悩まされる頸部領域は非常に有用性が高いと感じている。当院バージョンではヘリカルスキャンで SEMAR を使用することができないが、今回の V7 ではその点を解消しており運用面でのメリットは大きいと言える。しかしながら、繰り返し再構成を行う処理のため、通常の再構成に比べ再構成時間が長い。ヘリカル対応になったことでさらに処理時間の延長が懸念される。

また視覚評価でしか画像の善し悪しが判断できず、他メーカーとの比較が定量的に出来ない問題点や、関数によっては骨から Artifact が発生する事案もあり Metal Artifact Reduction 再構成の定量評価の必要性も感じた。

「逐次近似再構成について」のセッションではフル逐次近似再構成の FIRST の紹介と逐次近似再構成の基礎原理の発表内容だった。

FIRST は従来からある逐次近似「応用」再構成ではなく完全なフル逐次近似であり、再構成処理は専用ユニットで行い、本体で行う再構成と並行処理で FIRST による再構成が行え、スループットを落とさない仕組みだ。逐次近似再構成は、順投影と逆投影を繰り返すため、従来の再構成と比べ時間がかかるため、緊急を要する救急の第一段階の診断に対応するのは難しいと思われるが、時間的余裕がある精査などには適応可能な時間である、症例を選べば実臨床でのメリットは大きいと思われる。また今回は時間的、時期的な関係から実臨床画像は見られなかったが、分解能や被ばく低減がどこまで可能なのか期待したい。

平成 27 年度 第 2 回勉強会 一般研究発表 座長集約

防衛医科大学校病院
野瀬 英雄

平成 27 年度第 2 回勉強会で、一般研究発表では、上尾中央総合病院の小川智久氏に「全脊椎撮影における乳腺被ばく線量低減の試み」について発表していただきました。発表内容は、脊椎側弯症は女兒に多く、その多くは全脊椎撮影による経時的な観察が必要であり、AP 方向の撮影では、乳腺への被ばく線量が問題となる。乳腺に対する被ばく線量を抑えるためには、AP 方向の撮影より PA 撮影で撮影した方が被ばく線量を低減できるという報告でした。検討項目は、胸部ファントムを用いて PA 方向で撮影した場合の拡大率と乳腺への入射線量の測定、モンテカルロシミュレーションを用いて推定乳腺線量を算出し、AP 方向で撮影した場合と比較しました。さらに追加項目として、管電圧と付加フィルターを変化させて、従来の全脊椎撮影で撮影された S 値と同等になる管電圧と付加フィルターの組み合わせの中から、最も被ばく低減効果の高い組み合わせを検討しました。その結果、PA 方向の撮影の拡大率は、AP 方向の撮影の 1.032 倍となる。PA 方向で撮影した場合、乳腺入射線量および推定乳腺線量は、AP 方向で撮影した場合より 90% 低減できる可能性が示唆されました。加えて、従来法の AP 方向による撮影と比較して、PA 方向の撮影で管電圧 110kV、付加フィルター Cu0.5mm を使用すると、推定乳腺線量は 91% 低減できる可能性があるとして発表されました。

全脊椎撮影の乳腺被ばく線量の低減への試みは古くから行われており。遡ると昭和 55 年の発表資料を披見することができます。AP 方向の撮影から PA 方向の撮影にすることによる乳腺への被ばく低減率は著者によってバラツキがありますが、PA 方向の撮影は、乳腺への被ばく低減効果があり、有用性が高いという意見は一致しています。PA 方向の全脊椎撮影を実際の臨床に導入する場合、診断への影響や今まで経過観察されていた患者に対する画像の整合性の問題などが考えられ、今後はそれらを含めた評価を期待しています。



平成 27 年度 第 2 回勉強会 一般研究発表 座長集約

原田病院
瀧澤 誠

防衛医科大学校病院 近藤忠晴氏による「Zoom DWI 臨床利用の可能性 ～乳腺 DWI の基礎検討～」についての講演であった。

Zoom DWI による乳房への臨床が有用性を秘めているとの講演であった。

DWI は病変の質的情報をさまざまな解析により提供する反面、詳細で正確な形態情報は解決すべき課題の一つである、と考えられた。

乳房模擬ファントムを用いて、Zoom DWI と Large FOV DWI の歪み率と信号強度差を計測し検討している。評価方法は、歪み率・信号強度。実験は、乳房模擬ファントムによる脂肪抑制 frequency offset の検討、Large FOV DWI と 1.5T-Zoom DWI の比較を行っている。

拡散強調画像 (diffusion weight image : DWI) は、MRI のシーケンスの一種で、生体内の水分子の拡散運動を画像化したものである。水分子の移動によって生じる水素原子核の磁化ベクトルの位相の違いを信号強度差として描出することが可能である。

Zoom DWI は、撮像領域 (FOV) や長方形 FOV (RFOV) を小さく設定し、目的臓器のみを撮像することで水素原子核の磁化ベクトルの位相分散を抑制し、歪みを抑えることを目的とした撮像法である。目的臓器のみならず体幹全体を撮像する従来法 : Large FOV DWI と比較して画質改善が期待できる。

3T 装置は高い信号雑音比 (SNR) を利用した高分解能撮像に優れている反面、1.5T 装置よりも磁化率変動に鋭敏であり、歪を生じやすい。このため乳房領域の拡散強調画像の撮像には、従来装置よりも高い信号雑音比を有する 1.5T フルデジタル MRI 装置を使用することで 3T 装置では得られない安定した拡散強調画像を得ることができるのではないかと考えるに至った。

撮像実験結果より、1.5T の乳房拡散強調画像では、併用する脂肪抑制が周波数差選択抑制法の場合は共鳴周波数の周波ずれによる水抑制が発生し、信号低下を招く。緩和時間非選択抑制法 (IR 法) の場合は信号低下が少なく、IR 法を用いて TE、TR (3000msec 以上)、WFS に最小値を設定入力した 1.5T-Zoom DWI の画像評価は Large FOV DWI の画質評価よりも有意に高かった。高画質な 1.5T-Zoom DWI は腫瘍病変の画像診断の精度を高める可能性があり、乳房模擬ファントムでも 1.5T-Zoom DWI は有用であったと結んでいる。

撮像実験より有用性が実証され、各施設におかれても参考にしてもいいのではないと思われる。

今後、さらなる研究に期待したい。

平成 27 年度 第 2 回勉強会 特別セッション 座長集約

東京医科大学病院
岡本 淳一

今回の特別セッションでは「各施設・各メーカーにおけるルーチン検査～婦人科領域」とのタイトルの下、4つのメーカーのMRI装置を施設の方々に、それぞれの施設およびメーカーユーザーの立場に立った婦人科領域におけるMRIルーチン検査についてご発表いただいた。婦人科領域は、撮像する部位・病態によって画像診断の位置付けが大きく変化する領域であるため、その中でどのように一括りのルーチン検査を組み立てているのか、また組み立てたルーチン検査が施設間でどのような相違があるのか、大変興味深いところであった。

発表はイムス富士見総合病院の吉田晋吾氏（東芝ユーザー）、済生会川口総合病院の丸武史氏（PHILIPSユーザー）、埼玉医科大学病院の荒木智一氏（SIEMENSユーザー）、上尾中央総合病院の石川応樹氏（GEユーザー）の順に行われた。

吉田氏は、自施設に婦人科がなく、婦人科系MRI検査は他院紹介などのために行われている程度ということであったが、だからこそ確実なシーケンスが求められているのでは、と感じさせられるほど手厚いルーチン検査内容で、子宮だけでなく卵巣においてもDynamic Studyを行い、その臨床的有用性が大変興味深いところであった。

丸氏は、多くの症例を提示していただき、その中で重要な所見やチェックポイントを明確にご教授いただいた。またPHILIPS装置特有のTSEパラメータの挙動を紹介していただき、その中でいかにコントラストやS/Nに注視しながら、エコスペースを短くするか、大変分かりやすく解説していただいた。

荒木氏の施設のルーチン検査には、脂肪抑制にDIXON法を採用するという特徴があった。さらに高いマトリックスサイズを採用している関係で、他の演者より比較的撮像時間が長い印象であったが、非常にきれいな画像であり、ご施設の画質に対するこだわりが感じられた。

石川氏からはシーケンスチャートを要所に入れながら、エコスペースやバンド幅の基本的な解説を踏まえた撮像時間短縮の技術、また縦磁化を強制的に回復させるFRFSEの解説、ETLを増加させることにより表れるブラーリングアーチファクトに対するBlurring Cancellationなど、装置のスペックを生かしたイメージオブションの紹介があった。

今回4つの施設からのご発表をいただいたが、いずれも自施設の医師の要求、装置のスペック、患者一人にかけられる時間などを加味し、その施設の最善と思われるルーチン検査を発表していただいた。4人の演者の方々の発表内容を全ての施設にそのまま当てはめることはできかねるが、学んだことを一度持ち帰り、自施設での業務に少しでも役立てていただければ幸いである。

平成 27 年度 埼玉県診療放射線技師会第二支部 第 3 回勉強会 特別セッション 「急性腹症 CT ～機械的イレウスの原因を探る～」 座長集約

小川赤十字病院
田中 達也

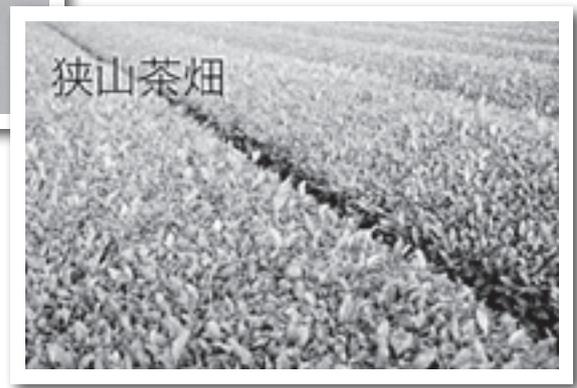
1 年前、平成 26 年 7 月 24 日の深夜、本会第二支部長の西理事より 1 通のメールが届いた。彼からのメールは毎回、簡単に返答できる内容ではないということは、技師会や研究会の間では有名な話である。今回も同様であり、私は笑みさえこぼれた。未だ本年度事業の半分も終了していない 7 月にもかかわらず、1 年後の支部勉強会の座長依頼である。すでに日時から講師に至るまで全て完成されたプログラムまで添付されてきた。相変わらず西理事らしい見事でありながら講師泣かせの内容であったが、選抜された講師の先生を確認した私は、悩むことなくご指名いただいた事へのお礼の返信をした。

1 年たった勉強会前夜、私は講師の先生 2 人に電話を入れた。略歴紹介の資料依頼をすっかり忘れていたからである。「紹介など必要ない」と断られたが「私だって少しは喋りたいんだ」と懇願した。講演内容に関する事は話にも上らず、何の不安もなく受話器を置き、何の準備も行わず当日を迎えた。

第 1 部は、上尾中央総合病院の滝口泰徳先生による鼠径ヘルニアを中心とした講演が行われた。比較的多く遭遇し、腸管の循環障害が伴った場合などは生命に関わる重要な疾患である。内鼠径・外鼠径・大腿・閉鎖孔ヘルニアの鑑別が、鼠径靭帯と下腹壁動静脈との位置関係を知ることで容易になること、そのための коронаル画像追加の重要性、循環状態を把握する上での造影撮影法、腹臥位リフティング法という描出能を向上させる撮影法を含めた診断学全般から、治療法と予後に至るまで図解と症例画像を用いて解説いただいた。大西支部長から依頼された一筋縄ではいかない講演内容にもかかわらず、質疑応答の場面でも、病態を熟知しているという貫録を伺わせ、富田先生との共演という心強さも大きなプレッシャーの中で、その重責を十二分に勤め上げた。

第 2 部は、済生会川口総合病院の富田博信先生による機械的イレウス全般の講演が行われた。富田先生といえば数々の役職や認定資格を持ち、雑誌では名前を見ない月が無いほど多忙な方である。それにもかかわらず、現在も ECR や RSNA で発表を行いながら博士後期課程に通う学生でもある。近年は後継者の育成にも力を入れており、若手に大きなチャンスを与え続けている。20 年近く差がある若手を教育し、信頼し、自分に依頼された講演を経験させるということは、そうできることではない。それ故に、最近では昔のように彼の神がかった講演を聴ける機会はめっきり少なくなった。また数々の責任ある役職をこなすあまり発言や行動にも品格がにじみ出ている。今回は私の希望として、また座長という立場を悪用し、開始直前に、この一時だけ役職を忘れ思い切りお話しくださいよう、講演時間も予定の倍に延長していただくよう無理なお願いをした。迷惑そうな笑みを浮かべた富田先生は、機械的イレウスの発生機序を画像と結びつけながら簡潔明快に解説し、後半はスマートフォンでリアルタイムに回答を求める進行で確実に参加者全員に知識を吹き込んでいった。学術刊行物に不向きな言葉をあえて使わせていただくと、少し下品でユーモアあふれる富田節が炸裂した。勿論会場全体は一つになった。「この 5 つだけ覚えておけば大丈夫だから！」の言葉に乗せられた聴講者たちは「明日からの当直が楽しみだ」と奮起した。終始会場を笑わせ続けた富田先生は完璧な時間配分で変更時間通り講演を終えるという冷静さも見せつけた。

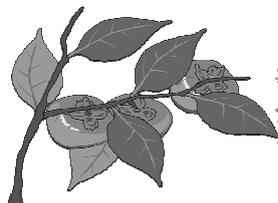
会場を埋めた、いわゆる“ゆとり世代”たちは堂々と質疑に立ち、終了後も会場に残り交流を深めていた。ゆとり世代とは親ほどの年齢差があるにもかかわらず進化し続けている同世代の姿も見ることができた。そして何より、この刺激的な時間を与えてくれたのは、地域や年齢という壁をいとも簡単に壊し、次々と新しい事業を展開している若い世代の役員たちである。この若い世代に、そして、それを支える第二支部の皆さま、遅くまで会場をご提供いただいた国立障害者リハビリテーションセンター病院の皆さまに心より敬意を表し座長集約とさせていただきます。



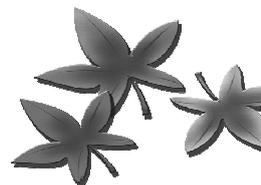
(後記)

今号では空きスペースに第二支部地域のイベントや名産の画像を掲載させていただきました。交通の便はあまりよろしくない地域ではありますがぜひ観光にもお越しください。

第三支部



第三支部だより



第三支部理事 渡部 進一

清秋の候、皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日、6月19日(金)に第1回勉強会がウエスタ川越で行われました。多数の施設からご参加いただき誠にありがとうございます。今までは第三支部で勉強会に有料施設を使用したことがなかったので、多少の不安はありましたが無事に終える事ができ感謝しています。ご参加くださった会員の皆さまから「交通のアクセスが良く、参加しやすい」、「会場となる施設がわかりやすい」などの多数の意見を頂きました。また好評を博す反面「会場案内が無く、場所が分からない」などの意見も頂きました。反省する点に関しては改善に努めていきたいと思えます。

次回の第2回勉強会は11月14日(土)に4支部合同で勉強会を行います。尚、勉強会終了後には懇親会(希望者は宿泊可)も開催されますので、ぜひ多くの会員の皆さまにご参加いただき、意見交換、親睦を深めていただきたいと思います。

【報告事項】

(1) 第3回 第三支部勉強会を開催

ア. 開催日時：平成27年6月19日(金) 19:00~21:30

イ. 開催会場：ウエスタ川越 市民活動・生涯学習施設 2F 会議室1

ウ. 参加人数：57人

エ. 内容：メーカー講演

(ア) メーカー講演「MRI撮影における各種撮影シーケンスの技術解説・E11バージョンソフトウェアの最新機能紹介」

シーメンス・ジャパン株式会社 イメージング&セラピー事業本部

MRビジネスマネージメント部 石川 啓介氏

技師講演

(イ)「知っておきたい社会人のメールマナー講座」

埼玉医科大学総合医療センター 半澤 一輝氏

(ウ)「超急性期の脳梗塞治療におけるCT画像の見方・考え方」

埼玉医科大学総合医療センター 栗原 良樹氏



ウエスタ川越

- JR川越線・東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分



勉強会風景

(2) 第1回 第三支部役員会

- ア. 開催日時：平成27年6月19日(金) 20:30～
- イ. 開催会場：ウエスタ川越 ウエスタ川越 市民活動・生涯学習施設 2F 会議室1
- ウ. 参加人数：7人
- エ. 内 容：川越健康まつり、納涼会、ホームページ作成など

(3) 第二・三支部合同納涼会

- ア. 開催日時：平成27年7月18日(土) 19:00～21:30
- イ. 開催会場：ベニーノ チェッロ (西武本川越ペペ 3F)
川越市新富町1-22 電話 049-224-7222
- ウ. 参加人数：37人
- エ. 内 容：会員同士の親睦を深める

(4) 第2回 第三支部役員会

- ア. 開催日時：平成27年8月13日(木) 18:30～19:30
- イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 会議室
- ウ. 参加人数：7人
- エ. 内 容：2015 リレーフォーライフ、第三地区ボーリング大会、第29回健康まつり
第二・三・四・六支部合同勉強会、第2回勉強会など。

【今後の予定】

(1) 第3回 埼玉CTコログラフィ研究会

- ア. 開催日時：平成27年10月15日(木) 19:00～20:45
- イ. 開催会場：川越駅西口 ウエスタ川越 2F 活動室1・2
- ウ. 内 容：CTC 検査に関する症例検討および検査運用について

(2) 第29回 川越市健康まつり

- ア. 主 催：川越市/川越市健康まつり実行委員会
- イ. 開催日時：平成27年11月1日(日) 10:00～15:00
- ウ. 開催会場：川越駅西口 ウエスタ川越 多目的ホール
- エ. 内 容：「あなたのための医療画像展」を開催します。
- オ. 問い合わせ：総合保健センター健康増進係・TEL229-4121

(3) 第二・三・四・六支部合同勉強会

- ア. 主催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 合同勉強会実行委員会
- イ. 開催日時：平成27年11月14日(土) 14:00 受付開始～
- ウ. 開催会場：会場ホテルヘリテージ四季の湯温泉
〒360-0103 埼玉県熊谷市小江川228 TEL 048-536-1212

第四支部

日本公衆衛生協会会長表彰 祝賀会報告

第四支部 萩原・齋藤

平成 27 年 6 月 27 日（土）秩父市のナチュラルファームシティ農園ホテルにて、秩父病院 山中隆二氏の公衆衛生事業功労者表彰を祝う会が行われ、山中氏と関わりの深い約 70 人の方々が出席されました。

多くの方々のご祝辞、山中氏ご本人のあいさつ、花束贈呈などが行われ、山中氏の人柄が表れた賑やかで、盛大な祝賀会となりました。

第四支部所属の山中氏の表彰は同支部会員の喜びでもあります。

この度は誠にありがとうございました。



山中 隆二 氏



花束贈呈



表彰状



歴代第四支部長と一緒に

第四支部納涼会報告

第四支部 萩原・齋藤

平成 27 年 7 月 31 日（金）19 時より「旬菜ダイニング浪漫」（熊谷市）にて、恒例の第四支部納涼会が行われました。連日の猛暑日ということもあり、この日を待ち望んでいた方も多かったようです。当日は、会員・賛助会員合わせて 58 人の参加となりました。情報交換や日頃のストレス発散（？）など大いに盛り上がり、施設や世代を超えて親睦を深めることができました。

今後も会員の皆さまが参加してよかったと思えるような、またさらに多く方が参加しやすい企画を提案していきたいと思えます。



かんぱ〜い！



会員の皆さま



ナイススマイル！



楽しく吞んでいます



みんなでイェーイ



メ お願いします

第五支部

第五支部

情報交換会

場所は春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

11月26日 19:00～(予定)

12月17日 19:00～(予定)

詳しくは SART の HP などでご案内致します。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

皆様とのお話ができるような企画を考えております。

テーマなど皆様のご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



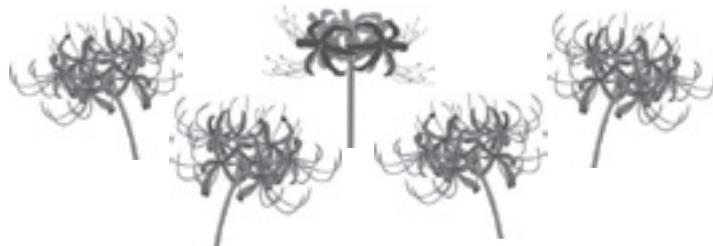
第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

下記でもご案内をしております。



<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>

第六支部

埼玉県診療放射線技師会第六支部

1. 巻頭言 金原 幸二
2. BLS 実技講習会報告
3. 第2回定期講習会案内
4. いきいきフェスティバル案内

巻頭言

夏

埼玉県立小児医療センター 金原幸二

昨年から第六支部総務を担当させていただいております、埼玉県立小児医療センター金原と申します。今回、巻頭言を書かせていただく事になりましたが、初めての経験なので正直、何を書いていいやら分かりませんが、ちょうどこの巻頭言を書いているのが夏真っ盛りの時期ということもあるので、夏をテーマに書かせていただきます。

この時期になると高校野球の話題が多くなってきますが、埼玉県予選の決勝に公立高校の白岡高校が進出したとニュースになっていました。僕は埼玉に就職してからずっと白岡に住んでいるので他人事とは感じられず、甲子園に行ってほしい気持ちでいっぱいでした。結果は決勝戦で敗退してしまいましたが、最後まで諦めずに必死に戦うその姿は、地元の住民に感動と勇気を与えたと思います。

高校野球は、他の部活動と少し異質なものに感じます。甲子園となれば、1回戦から決勝まで全試合放送されますし、この時期になると、県予選ですら連日のように地方テレビ中継されます。高校時代、僕も県予選1回戦から全校応援に行かされた記憶があります。高校野球は、高校生や世間にとって、夏の風物詩のように思います。

僕も高校時代、運動部に所属していたので、逃げ出したくなるような厳しい練習を仲間と励ましあいながら乗り切ったこと、試合に出るためにはそのチームメイトと競い合わなければいけないこと、いろいろな思いを抱えながら、とにかく必死で練習に取り組んでいたのを覚えています。本気で頑張っている高校球児たちを見ると、あの頃のつらい経験や感じていた思いなどが蘇ってきます。自分の青春時代を高校球児たちに重ね合わせて、純粋な気持ちで応援できるのが高校野球の魅力なのかもしれません。

高校野球に限らず、本気で頑張っている人たちの姿は、見ている人に勇気と感動を与え、とても魅力的だと僕は思います。ただ、大人になるにつれて何かの本気で取り組むといったことが段々と無くなったようにも思います。日々何も考えず、ただポカーンとしながら過ごしている僕にとって、目標を持ち、この暑い中、がむしゃらに練習に取り組んでいる高校球児たちは、とても輝かしく、またそこまで本気で打ち込めるものがあることを羨ましくも思います。

僕も高校球児たちを見習って、日常を少しでも有意義にするために、もう少し頑張ってみようかなあと、考えを改めさせられた今日このごろです。

第1回 BLS 実技講習会報告

彩の国東大宮メディカルセンター 小野寺将真

平成 27 年 6 月 19 日に、上尾中央総合病院看護研修センターにて埼玉県診療放射線技師会第六地区主催による第 1 回 BLS 実技講習会に参加させていただきました。

講習は、初めに全体で BLS の一連の流れをインストラクターの方に実演していただき、その後、各グループに分かれて細かい説明を交えながら実技の練習を行うという形でした。胸骨圧迫や、ポケットマスクを使用した人工呼吸の方法など、一つ一つの実技を分かりやすく指導していただきました。講習の最後には、スキルテストということで BLS を一通り行って見て良い所や修正点を評価していただきました。

短い時間の中でしたが、インストラクターの方々の熱心な指導のおかげで以前よりも自信を持って BLS を行うことができるようになったと思います。

平成 27 年度 第 2 回定期講習会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび私たち第六支部では、各病院それぞれの教育状況に関する勉強会を開催致します。教育に携わる方や実際に教育を担当されている方には興味のある内容と思います。

お忙しいと存じますが、皆様のお役に立てる内容となっておりますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

- 1、日時：平成 27 年 10 月 22 日（木） 19：00～
- 2、会場：丸山記念総合病院
- 3、テーマ：【技師教育について】 ～各施設の教育方法～
- 4、参加費：無料

埼玉県診療放射線技師会第六支部 学術担当

いきいきフェスティバル案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第六支部では、公益活動の一環として『彩の国いきいきフェスティバル』に出展し、放射線医療や診療放射線技師の役割について、県民の皆様にご理解いただきたく、啓蒙活動を行いたいと思っております。

当日は、各種団体の催し物や、フリーマーケット、模擬店などが出展いたします。会員の皆さま、ぜひまわりの方々をお誘いの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

- 1、日時：平成 27 年 11 月 15 日(日)10：00～15：30
- 2、会場：埼玉県県民活動総合センター
- 3、内容：パネル展示、被ばく相談、骨密度測定、クイズなど
- 4、参加費：無料

埼玉県診療放射線技師会第六支部



埼玉県診療放射線技師会第六支部

- 1.平成27年度納涼会報告
- 2.平成27年度忘年会案内

納涼会 報告

埼玉県立小児医療センター 持田 朋之

平成27年7月16日(木)にカインドハウス kin魚にて第六地区納涼会に参加させていただきました。参加者数約30人の盛大な会になりました。

他施設の方々と情報交流の機会を持つことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。今後の勉強会などにも参加し、知識、技術の向上に努めていきたいと思いました。

最後に今回の納涼会開催を企画していただいた幹事、役員の皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。

忘年会のお知らせ

第六地区忘年会を下記の通りに開催いたしますので、お知らせいたします。時節柄、忙しいと思いますが、奮ってご参加ください。

- 1.日時 平成27年11月26日(木)
19時00分～
- 2.場所 未定
- 3.会費 未定
- 4.備考 問い合わせは、下記の連絡先にお問い合わせください。

さいたま北部医療センター 竹内 信行
tell : 048-663-1671
mail : loveasahibeer2009@gmail.com